

公表

放課後等デイサービス事業所における自己評価総括表

○事業所名	子どもの広場桑名 放課後等デイサービス		
○保護者評価実施期間	2025 年 11 月 28 日		2025 年 12 月 10 日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	64	(回答者数) 59
○従業者評価実施期間	2026 年 1 月 26 日		2026 年 2 月 12 日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	9	(回答者数) 9
○事業者向け自己評価表作成日	2026 年 2 月 26 日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	お子さまとの信頼関係に基づいた、安心感のある居場所づくり	「話し合いが上手」「すぐに解決してくれる」とお子さま自身が感じられる丁寧な関わりを軸に、スタッフと全力で遊ぶ時間を通じて、自分の居場所としてリラックスして過ごせる温かい雰囲気は確立されています。	対応の質を均一化し、どのスタッフに対しても「話しやすさ」を感じられる体制を構築します。自身の意思が尊重される経験を通じ、自己肯定感の向上と居場所への帰属意識を深めます。スタッフとの信頼関係が深まった場面(情緒的交流)を職員間で共有し、より個性の高い丁寧な関わりを継続します。
2	個別療育や臨床美術など、専門性の高い療育プログラムの充実	一人ひとりの発達段階に合わせた個別療育に加え、感性を育む臨床美術など、お子さまの可能性を広げる多彩なプログラムを提供しています。	言語化しにくいお子さまの興味や得意分野を可視化し、より多角的な視点から個別支援計画の精度を高めます。
3	専門機関との連携体制	「なごや発達クリニック」主催のセミナーをはじめ、専門的な知見に基づくバックアップ体制があり、ご家族へ質の高い情報提供や支援を行える基盤があります。	なごや発達クリニック主催セミナー等の情報をご家族へ届くよう、案内方法を見直し周知不足の解消に努めます。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	地域社会との連携・交流機会の欠如	事業所内での療育活動には安定して取り組めていますが、放課後児童クラブや近隣施設といった地域資源との有機的なネットワーク構築については、まだ発展の途上にあります。	お子さまが住み慣れた地域の中でより多様な人々と触れ合い、社会性を広げていけるよう、インクルーシブな環境づくり(地域共生)への働きかけを段階的に強化していきます。
2	安全管理・運営情報の「周知不足」と不透明さ	内部での体制整備(マニュアルや訓練)は進んでいるものの、それがご家族に適切に可視化・共有されていません。情報発信の不足により、運営の適切性や安全性に対する「根拠のある安心感」を提供しきれっていません。	「できていること」を正確に分かりやすく発信する広報のあり方を見直します。安全管理や職員体制などの情報を可視化し、ご家族に根拠のある安心感を持っていただけるよう周知の徹底を図ります。
3	ペアレントトレーニングや父母会の未開催、きょうだい児向けイベントの欠如。	現在は個別面談や日々の対話を通じた、一対一のサポートが中心であり、保護者様も現時点では集団活動(父母会等)の必要性を強くは感じておられない状況にあります。	この良好な関係を土台としつつ、ご家族のさらなる安心やリフレッシュに繋がるよう、きょうだい児支援や気軽な情報交換の場など、「プラスアルファの家族支援」のあり方を柔軟に検討していきます。